

報道関係各位

<開催概要>

豊かな社会、元気な経済に貢献するビジネスがここから発芽
グッド・ビジネス・アワード 事業化プロジェクト発足式
～ファイナリストプレゼンテーション～
グランプリは、小島豊美さん
「地歴を伝えて温故創新で
都市地域の観光活性おもてなし多言語対応 SNS」！！

中小企業庁の委託事業として運営する、中小企業・小規模事業者向け支援ポータルサイト「ミラサポ」(<https://www.mirasapo.jp/>)では、このたび、全国の中小企業・小規模事業者から新しいビジネスアイデアを募り、その実現化をサポートする「グッド・ビジネス・アワード」を展開しました。中小企業の皆さまのアイデアや知恵で日本を元気にすることを目的に、5つのテーマを設定し応募を受け付け、事業者から寄せられた176案件を対象に、一次選考、二次選考を経て、ファイナリスト5案件を各部門より1案件ずつ選出いたしました。

【ファイナリスト】

- 住「あんしん」ビジネス : 西村 邦裕「Chrovis」
- 食「ごはん」ビジネス : 黒澤 法導「美味認定」
- 匠「ものづくり」ビジネス : 三澤 誠「花満開プロジェクト ～奥出雲から世界へ」
- 楽「おもてなし」ビジネス : 小島 豊美
「地歴を伝えて温故創新で都市地域の観光活性おもてなし多言語対応SNS」
- 学「まなび」ビジネス : 長谷部 光伸「障害者アートヴィレッジ(障害者芸術村)の創設。」

そして、1月23日(木)に、東京コンベンションホールにて、「グッド・ビジネス・アワード 事業化プロジェクト発足式～ファイナリストプレゼンテーション～」を開催いたしました。当日は、ファイナリスト5名が当日プレゼンテーションを実施。審査員4名による厳正な審査の結果、グランプリに小島豊美さんの「地歴を伝えて温故創新で都市地域の観光活性おもてなし多言語対応SNS」が決定いたしました。現代地図と古地図を重ねて、都市の歴史・文化を伝え、観光ボランティアとコラボし、訪れた人が情報システムの中で交流できるサービスです。

ファイナリストに選出された5案件は、ミラサポ事務局が事業化に向けサポートする予定です。

受賞者のコメント

●グランプリ: 小島 豊美「地歴を伝えて温故創新で都市地域の観光活性おもてなし多言語対応SNS」

このような素晴らしい賞をいただき、とても驚いています。私は東京に生まれ、東京で育ち、東京という土地が豊かな文化を持っていることに誇りをもっています。しかし、その豊かさを知っている人は少ないのです。インターネットの時代になって、古地図情報などのひも付けが可能になることで、東京の豊かさを伝え、人々の普段の心持ちを変えられるようになってきたのかな、と思っています。今回グランプリをいただいたアイデアが、少しでも形になればという一念で、これまで8年間頑張ってきました。今持っている古地図のデータは、現状で完成ではないので、これからも頑張っていきたいです。この事業が少しでも人の役にたったら良いなと思っています。ありがとうございました。

総評

●審査員長: 赤池学

グランプリを受賞された小島さん、そしてファイナリストの皆さん、おめでとうございます。

ファイナリストの4名のアイデアについて、講評させていただきます。西村さんのアイデアは、ゲノムを解読する事業とのことでしたが、1ベンチャーだけでなく、国と連携してやっていくと良いと思いました。とても高レベルな事業で、一番議論を費やしました。黒澤さんのアイデアはとても面白く、データなどではなく生身の人間の舌を基準として認定するという、アナログな点が評価されました。三澤さんのアイデアは、地域の発展をテーマにしており、ビジネスの発展性を感じます。長谷部さんのアイデアは、障害者をテーマとしており、こちらも重要なテーマだと感じました。すでに先行事例もあるので、そういったものと上手く連携していくと、さらに発展していくと思います。

そして、グランプリを受賞した小島さんのアイデアは、正直なところ、ビジネスアイデアとして完成はしていませんが、情熱を感じました。ベンチャー企業にとって、情熱は重要です。今後は、商店街やナビゲーションサービスと連携していくと、ビジネスとして発展していくと感じました。

国内中小企業のサポートをミッションとする「ミラサポ」は、このアワードを、単なる「賞取りのための賞」として捉えてはいません。上位賞案件に留まらず、最終選考にノミネートされた53の事業案件を、「即効力に富むもの」「中長期で育てるもの」に整理し、支援を表明している推進パートナー企業と共に、そのインパクトある事業化を形にしていきたいと考えています。中小企業・小規模事業者の栄えある未来のモデルを協働で生み出すこの事業への、ご支援、ご指導をお願いしたいと思います。

〈実施概要〉

- 【主催】** ミラサポ
- 【実施日時】** 1月23日（木）13:30～16:00
- 【会場】** 東京コンベンションホール（住所：東京都中央区京橋三丁目1-1 東京スクエアガーデン5階）
- 【出席者】**
- ・株式会社パソナグループ 代表取締役グループ代表 南部靖之
 - ・中小企業庁長官官房参事官 三又裕生
 - ・審査員4名
 - 赤池 学（ユニバーサルデザイン総合研究所所長）
 - 吉本 和彦（フィデアホールディングス株式会社 取締役 代表執行役副社長）
 - 吉水 由美子（伊藤忠ファッションシステム株式会社 マーケティングクリエイションビジネスユニット マネジャー）
 - 橋本 隆志（株式会社八代目儀兵衛 代表取締役社長）
 - ・ファイナリスト5名
 - ・部門賞受賞者10名
 - ・ベストパートナー賞受賞者5名

〈ミラサポについて〉

「ミラサポ」は、中小企業庁の委託事業として運営する、中小企業・小規模事業者向け支援ポータルサイトを活動基盤としたプロジェクトです。中小企業・小規模事業者のニーズにきめ細やかに対応し、具体的な事業支援を行うため、①国や公的機関の施策情報の提供、②ビジネスコミュニティ提供、③分野ごとの専門家への相談・派遣依頼の機能を持ちあわせ、2013年7月に開設し、10月に本格運用を開始しました。現在2万7千人のユーザーが登録、活用いただいています。（2014年1月20日現在）

〈本件に関するお問い合わせ先〉

ミラサポ「グッド・ビジネス・アワード 事業化プロジェクト発足式」広報事務局（電通 PR 内）
担当：野城
TEL：03-5565-2768

★グランプリ

受賞者名	アイデア名
小島 豊美	地歴を伝えて温故創新で都市地域の観光活性おもてなし多言語対応SNS

●住「あんしん」ビジネス

授賞	受賞者名	アイデア名	所属エリア
ファイナリスト	西村 邦裕	「Chrovis」	東京都
部門賞	菅野 健司	「みーてる & まもってる」	東京都
部門賞	光成 美紀	「家の安心環境・事前チェック」	東京都
	加藤 昌樹	「愛の着火剤販売製造ビジネス」	
	山田 秀樹	「くん炭ボード ～ 人と環境に負荷をかけない建築用建材製造・販売の本格的事業化」	
	油井 康二	「ホームエアシェルター」	
	瀧澤 清美	「外国人や障害者が利用できる多言語対応の自動音声緊急通報アプリ(特許出願中)」	
	石丸 博士	「健康ウォッチ ～病気になるための健康システム」	
	秋山 雅美	「リンパ専門訪問看護サービス」	
	喜多嶋 俊岳	「ふじのくに アグリサポート」	
	上田平 重樹	「Millions of oases」快適な音環境！携帯電話ブース [BODYPHON](グッドデザイン賞)を世界中へ。	
	西 博顯	「絹につつまれた、安心と安らぎの暮らしのご提案」	
	梅津 健児	「太陽光をフルに利用した、分散型エネルギーシステムの普及！」	

●食「ごはん」ビジネス

授賞	受賞者名	アイデア名	所属エリア
ファイナリスト	黒澤 法導	「美味認定」	東京都
部門賞	安田 勝成	「ニッポンの“Hikari Power”凱旋ビジネス」	兵庫県
部門賞	足立 晃一	「伊豆の温泉を利用して国産カカオの栽培」	静岡県
	蔵田 寛	「味覚の和食舌を創る ～「天然和風だしドリンク」の開発・製造・販売」	
	島田 泰平	「お米を食べようプロジェクト」	
	下堂 蘭 元	「商品・プロモーション連携開発による ニュー「茶」飲料海外展開プロジェクト」	
	林 菜美子	「おうちごはん塾」	
	大槻 博	「幻のコメ「ササシグレ」を原料とした商品開発による里山再生プロジェクト」	
	木戸 庸平	「秘伝のレシピ.com」	
	亀山 初美	「女性の視点を活かした地産地消応援団 team WOMB」	
	小里 博栄	「和食料理人の育成 inアジア」	

●匠「ものづくり」ビジネス

授賞	受賞者名	アイデア名	所属エリア
ファイナリスト	三澤 誠	「花満開プロジェクト ～奥出雲から世界へ」	島根県
部門賞	春日 秀之	「感性素材ブランド BLANC BIJOU」	東京都
部門賞	津田 勇樹	「安心、清潔、送料無料の「今着」ビジネス」	東京都
	稲月 正	「バースディチェア「幼児の椅子と机」」	
	藤井 博文	「箱が主役」	
	石橋 善雄	「在庫軽減による財務圧迫の回避。」	
	齋藤 栄太	「絹と暮らす生活」	
	小倉 隆志	「「ものづくり」への資金供給 ～電子記録債権POファイナンス」	
	宮本 光浩	「魔法使いによる地域活性化プロジェクト(仮題)」	
	北野 道代	「和の匠マルチ発電機製品化プロジェクト」	
	石頭 悦	「伝統技術「裂き織」で、環境にも経営にも優しい「リユース」商品開発を！」	
	前田 久美子	「100 年先に残る伝統工芸品」	

●楽「おもてなし」ビジネス

授賞	受賞者名	アイデア名	所属エリア
ファイナリスト	小島 豊美	「地歴を伝えて温故創新で都市地域の観光活性おもてなし多言語対応SNS」	東京都
部門賞	野村 広子	「神々の国へご縁を結ぶ出雲結婚式～八百万の神が集う地でのおもてなし」	島根県
部門賞	根本 泰昌	「「ご当地紅茶」でおもてなし」	栃木県
	細元 啓一郎	「焼酎めぐりと北郷温泉の旅」	
	大谷 秀樹	「きずな街道プロジェクト(仮称)」	
	西川 興	「甲賀忍者コンテンツを創出支援し地域経済を活性する」	
	佐藤 香奈子	「庄内おもてなし王国」	
	藤原 隆広	「四季の感動世界ー！ あきた「兎農園」食と自然のおもてなし」	

●学「まなび」ビジネス

授賞	受賞者名	アイデア名	アイデア名
ファイナリスト	長谷部 光伸	「障害者アートヴィレッジ(障害者芸術村)の創設。」	埼玉県
部門賞	木鋤健	「ロボット教材による中高生科学技術イノベーションゼミ」	神奈川県
部門賞	山田 奈央子	「大使館プロジェクト「PORT」」	東京都
	原 一真	「ネットとリアルでつながる「道の駅カレッジ」」	
	飯田 啓之	「J-Coofeプロジェクト」	
	川村 正弘	「りんご畑で企業力アップ！」	
	田中 徳子	「フードビジネスで自分を生かす！次世代秋田の人材育成プラン」	
	田中 絢子	「働く女子のキャリアと健康」	
	前田 久美子	「京都の伝統工芸品の後継者育成」	

「グッド・ビジネス・アワード」ベストパートナー賞

ベストパートナー賞とは

ファイナリストおよび部門賞受賞者が自身のアイデアへ最適なアドバイスを行ったパートナーを選定し、事務局と協議の上、賞を贈ります。

受賞者名	サポート内容	所属エリア
杉本 和行(株式会社 杉本企画)	ファイナリスト 三澤さま案件でサポート	島根県
森本 明夫	部門賞 安田さま案件でサポート	大阪府
玉置 久倫(中小企業診断士玉置事務所)	部門賞 足立さま案件でサポート	静岡県
関 信一(有限会社エス・エム・エスコンサルティング)	部門賞 春日さま案件でサポート	長野県
高橋 憲示(ブランディングオフィス アンドオン)	部門賞 根本さま案件でサポート	新潟県

「グッド・ビジネス・アワード」概要

【内容】

日本を元気にする、ビジネスアイデアを中小企業・小規模事業者から募り、その事業化に向けての支援を行う。

【特徴】

● 専門家・エリアモデレーターによる事業計画のブラッシュアップ

176の応募のなかから一次選考を通過した53件の応募者は、ミラサポコミュニティ内において、専門家やエリアモデレーターとのオンライン・セッションを行いアイデアのブラッシュアップが可能。

● 受賞者は、ミラサポ事務局が事業化に向けてサポート

審査員による第二次選考を通過した、5件のファイナルプレゼンテーションの事業計画は、ミラサポ事務局が事業化に向けてサポート。ビジネスパートナーや地域金融機関とのマッチング等の機会を提供し、各種メディアにて、積極的に広報支援を行うことで、ビジネスを加速化させます。

【概要】

● 応募テーマ

・住 「あんしん」ビジネス

世界が目指すニッポンの「あんしん」。

ニッポンの未来を考える時、ニッポンの環境問題やヘルスケア、防犯等に関する、住を取り巻く「あんしん」な新しいビジネスアイデアを募集します。

・食 「ごはん」ビジネス

ニッポンが誇る美味しい「ごはん」。

農業から、食卓まで、食に関連するニッポンならではの安全・安心の「ごはん」を提供する為の新しいビジネスアイデアを募集します。

・匠 「ものづくり」ビジネス

ニッポンが誇る匠たちの「モノ作り」。

伝統的なモノから、最先端のモノまで、ニッポンの誇る高品質な技術を活用した「モノづくり」ビジネスアイデアを募集します。

・楽 「おもてなし」ビジネス

世界が認めるニッポンの「おもてなし」。

日本全国にあるまだ知られていない魅力的な部分を紹介し、地域活性化につながる「おもてなし」ビジネスアイデアを募集します。

・学 「まなび」ビジネス

日本人として大切なニッポンの「まなび」。

ニッポンの明るい未来は人材育成からはじまる。持続可能な新しい人材育成をテーマにした「まなび」ビジネスアイデアを募集します。

【主催】

ミラサポ(ミラサポは、中小企業庁委託事業です。)

【募集期間】

2013年10月17日(木)～ 2013年11月14日(木)18:00

【審査の流れ】

- ①エントリー（176 作品）
2013 年 10 月 17 日(木)～ 2013 年 11 月 14 日(木)18:00
- ②一次選考（53 作品）
2013 年 11 月 29 日(金)発表
※事務局による審査
- ③オンライン・セッション
2013 年 11 月 29 日(金)～ 2013 年 12 月 15 日(日)18:00
- ④ファイナリスト発表(各テーマ 1 案)
部門賞発表(各テーマ 2 名)
2013 年 12 月 26 日(木)発表
※審査員による審査
- ⑤グランプリ発表(1 名)
ベストパートナー賞発表(各テーマ 1 名)

【賞について】

●グランプリ

1 名

5 名のファイナリストの中から最優秀のアイデアが選ばれます。

●ファイナリスト

各テーマ 1 名(計 5 名)

各テーマの中で最も優れたアイデアを提案した応募者を認定します。

●部門賞

各テーマ 2 名(計 10 名)

今後さらにプランニングを行うことで発展する可能性が高いアイデアへ贈ります。

●ベストパートナー賞

各テーマ 1 名(計 5 名)

ファイナリストおよび部門賞受賞者が自身のアイデアへ最適なアドバイスを行ったパートナーを選定し、賞を贈ります。

【審査員】

審査員長

赤池 学(ユニバーサルデザイン総合研究所所長)

審査員

出雲 充(株式会社ユーグレナ 代表取締役社長)

小出 宗昭(富士市産業支援センターf-Biz センター長)

小山 薫堂(放送作家/脚本家 N35, Inc 代表)

橋本 隆志(株式会社八代目儀兵衛 代表取締役社長)

吉水 由美子(伊藤忠ファッションシステム株式会社 マーケティングクリエイションビジネスユニット
マネジャー)

吉本 和彦(フィデアホールディングス株式会社 取締役 代表執行役副社長)

※敬称略